

2024 保護者による児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 年 月 日

事業所名 発達サポート being

N=14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	79%	7%	7%	7%	・活動写真を拝見したところ十分に確保されていると思います。 ・スペースが狭いような気がします。	・設置基準以上のスペースを確保しています。 ・広々としていると室内を走り回ったり、他児との接触が多くなりトラブルも増えますので、活動に合わせて空間の調節をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	79%	14%		7%	専門的な視点から状況説明も分かりやすい。配置数は不明。	・基準を上回る人員を配置しています。 ・発達支援の専門資格を持つスタッフが8割りを占めています。
	3 生活空間は、わかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	93%		7%		個々の生活環境に合わせた環境の提供がされていると思います。	・可動式のパーテーションと教具棚を使用して、その日の利用メンバーや人数に応じて環境構成をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		7%		キレイに整理整頓されており、過ごしやすいと思います。	・1日2回の清掃時間を設けています。
適切な 支援の 提供	5 発達の課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	93%			7%		・心理専門職が科学的根拠のあるアセスメントをしています。
	6 児童発達支援計画には、発達の5領域をはじめ、家族支援等の項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	7%				・発達の5領域、その他の項目が一目瞭然なフォーマットを使っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93%			7%		・担当者会議や個別相談等で支援の内容をお伝えしています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	86%	14%			画一的ではなく、個人の特性に合わせ非常に工夫がされている。	・個々の興味、関心発達の状態等を大切にプログラムを立てています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	43%		7%	50%		・どなたでも参加頂けるイベントを実施しています。 ・特にそのような企画をする必要性はないと考えています。
保	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93%			7%		・契約の折に、時間を設けて重要事項説明書で説明をしています。
	11 個別の支援計画は、計画書を示しながら支援内容の説明がなされたか	93%	7%				・計画書を見て頂きながら説明をしています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）が行われているか	85%			15%		・毎年ご案内をして申し込みがあった保護者の皆様に実施しています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%					

護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	64%		7%	29%	支援されているようだが私自身保護者同志の交流はない。	保護者会、ベアトレ、ご家族で参加して頂けるイベント等を毎年実施しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	86%	7%		7%	・子どもに体調不良がある時は直ぐに連絡を下さるので助かっています。 ・担当の方意外とは上手くいっています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	79%	14%		7%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	86%	14%				・ニュースレターを発行しています。 ・公式lineやHPIにて発信をしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	93%	7%				・研修等も行い、十分に気をつけたいと思います。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	100%					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	93%			7%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	79%		14%	7%	非常に楽しみにしている毎日楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	93%	7%				

自由記述

- ・発達の状況をしっかり分析された上で、子どもに寄り添った温かみのある支援をして頂き、安心して子どもをあずけることが出来ています。子どもも良く心を開いて接することが出来ているようで、子どものこころの拠り所の一つとして精神的にも支えて下さっていることにとっても感謝しています。
- ・日頃より先生方の丁寧な対応には大変感謝しております。子どもも毎回の利用を楽しみにしており、beingさんに通わせて頂いて本当に良かったと思っています。いつも本当にありがとうございます。
- ・スタッフの皆さん本当に良くして頂き、有難く思っております。引き続きよろしく願いいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		基準を上回るスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%		基準人員を上回る雇用をしています。
	3	療育室は、わかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		・自分の場所が分かりやすい、何をするのが分かりやすい、トラブルが起きにくい等、その日のグループメンバーの構成に応じて環境を調整しています。 ・身体障がいのお子様は当事業所の対象ではありませんので、バリアフリー化の設備はありません。
	4	療育室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		・スタッフが1日2回の清掃、消毒をしています。 ・グループメンバーや活動内容に応じて室内のレイアウトを変更しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	79%	21%	・スタッフ個人、セッションチームごとのPDCAはできていますが、システムとして改善の余地があります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果をホームページ等で公開しているか	100%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%		・評価機関による評価は行っていません。 ・研究機関、保育機関に所属する経験豊かな先生方に毎年評価を依頼しています。今年度は、コンサルテーションもして頂き、本法人の強み・弱みを把握して業務改善に繋げています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		・事業所において必修としている研修22時間に加えて、外部研修への参加を奨励し、研修費の補助をする等、資質向上の体制を備えています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、支援ニーズや課題を客観的に分析した上で、個別の支援計画を作成しているか	100%		・心理専門職がアセスメントを行い、アセスメントの研鑽を積んだ児発管が計画を作成しています。 ・児発管OJT中のスタッフもアセスメントトレーニングをしています。
	11	子どもの発達の状況を把握するために、客観的な指標を用いているか	100%		・心理専門職が必要に応じて一人ひとりの子どもに応じたアセスメントバッテリーを組み、保護者の承諾を得て検査を実施しています。 ・行動観察は、5つの発達の視点でアセスメントをしています。
	12	個別の支援計画には、「発達5領域」や「家族支援」、「地域支援」等子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	100%		・5領域が一目瞭然のフォーマットを使って個別の支援計画を立てています。発達の現状を適切に評価して、達成可能な目標を立て支援内容と整合性を図っています。
	13	個別の支援計画に沿った支援が行われているか	89%	11%	・個別の支援計画に基づく支援プログラムに添って、担当スタッフが毎回のセッション計画を担当スタッフが立てて、実施しています。
	14	支援プログラムの立案をチームで行っているか	100%		・児発管、心理専門職のオーダーで、セッションリーダーがプログラムを立て、サブと打ち合わせをして毎回のセッションに臨むシステムです。
	15	支援プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		・お子様の興味関心、理解を把握してプログラムに反映させています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別の支援計画を作成しているか	100%		・個別、6名～8名のグループ、2、3名のグループ等を柔軟に組み合わせています。
	17	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		・各クラスを担当するスタッフがクラスごとに打ち合わせしています。
	18	支援終了後には、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	89%	11%	・セッション終了後に十分な時間を確保することが難しく、共有ファイルで記録を共有したり、隙間時間を使い振り返りをしたりしています。体制を整えることが課題です。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		・日々の記録を取ることを徹底しています。
20	事業所内でケース会議等を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	89%	11%	・毎月の定例会でケース検討をしていますが、出勤者だけの出席になります。定例会に出ていないスタッフには個別に伝達していますが、情報共有を課題として検討の日々です。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	該当なし			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	89%	11%	・担当者会議や訪問支援等で情報共有を心がけています。しかし、十分な時間が取れないこともありますので、改善策を検討しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	89%	11%	・県の障がい福祉課からアナウンスされる研修には必ず参加しています。 ・連携のシステムが課題です。他のセンターや事業所から助言研修を頂くためのシステムの有無、研修に必要な手続き等が周知されていない状況で、この質問項目が適切だとは思えません。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%		・年に1度、誰でも参加できるイベントを企画して広報しています。 ・当事業所は通所事業所であり、利用のお子様は保育・教育機関に通っていますので、近隣のこども園等と交流する機会を特別に設ける必要はないと考えています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%	・毎回の利用ごとにやりとりする連絡帳の記載が全くなく、保護者会の出席や個別相談の機会も持てない保護者様との共育が課題です。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	100%		・ペアレントトレーニングは、研鑽を積んだ心理専門職をファシリテーターとして毎年開催しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	33	児童発達支援ガイドラインの「発達の5領域」に関連づけられたねらい及び支援内容が記載された、「個別の支援計画」を示しながら保護者に対して説明を行い、支援計画の同意を得ているか	100%		・発達の5領域と「お子様の行動」「アセスメント」の関係が明確な個別の支援計画のフォーマットを用いて、対面で丁寧に説明をしております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		・スタッフは、入職、退職の際に守秘義務厳守の誓約書を提出しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	89%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		・急な飛び出しや、自傷他害防止のために抱きかかえたり身体を押さえたりすることがあるということを重要事項説明書で説明し、個別の支援計画にも明記しています。

◆総合的コメント

「はい」か「いいえ」かと問われると大抵の項目は「はい」だと思います。経営者もスタッフも、一人ひとりが努力して発達支援という仕事に誇りを持って日々専門家としての務めを果たそうと努力をしています。しかし、どんなに努力をしても、一つひとつの項目それぞれにいつも課題があると考えています。いつも課題を意識しながら、地域の皆様に信頼されるような事業所を目指したいと考えます。